

ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間かわたび  
ほっかいどう令和5年6月16日  
北海道開発局

## 川の中の生きものを調べてみませんか

～令和4年度全国水生生物調査結果と令和5年度調査の参加者募集～

北海道開発局における令和4年度全国水生生物調査結果と令和5年度の参加者募集についてお知らせします。

令和4年度調査には、1,103人の方に参加していただきました。令和5年度も多くの方の参加をお待ちしております。

環境省と国土交通省では、水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するとともに、環境問題への関心を高めるため、一般市民等の御協力を得て全国水生生物調査を実施しています。

北海道開発局における令和4年度の調査では、以下のような結果がまとまりました。（詳細は資料-1）

- ① 北海道内44地点で、ヒラタカゲロウ、カワゲラ類の指標が確認され、「きれいな水」と判定された地点が全体の95%を占めました。
- ② 参加者は、小学校・高校が89%、市民団体等が11%となっております。

水生生物調査とは、河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は水質汚濁の影響を反映することから、実際に川の中に入って採取した水生生物により水質の判定を行うもので、誰でも簡単に参加できる調査です。

調査の参加を希望される方は、資料-1の問合せ先まで、ご連絡ください。

また、全国の調査結果は、国土交通本省及び環境省から発表されています。（資料-2、参考1及び2）  
詳細は国土交通省のホームページをご覧ください。

（国土交通省 報道・広報URL）

[https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04\\_hh\\_000211.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000211.html)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 河川管理課 低潮線保全官 谷口 清（内線 5323）

建設部 河川管理課 低潮線保全係長 今田 和洋（内線 5970）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



## 令和4年度全国水生生物調査の結果（北海道開発局関係分）及び 令和5年度の参加者募集について

### 1. 令和4年度調査結果の概要

#### （1）調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としました。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質の状況を判定しました。

#### （2）調査結果

##### ○参加者数

令和4年度の参加者は、1,103人でした。

参加者数	1,103人
参加団体数	25団体
調査地点数	44地点

##### ○水質判定結果

令和4年度は、全調査地点の95%の地点で「きれいな水」と判定されました。

		地点数	全調査地点における割合
Ⅰ	きれいな水	42地点	95%
Ⅱ	ややきれいな水	2地点	5%
	計	44地点	

\*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。



札内川水系札内川



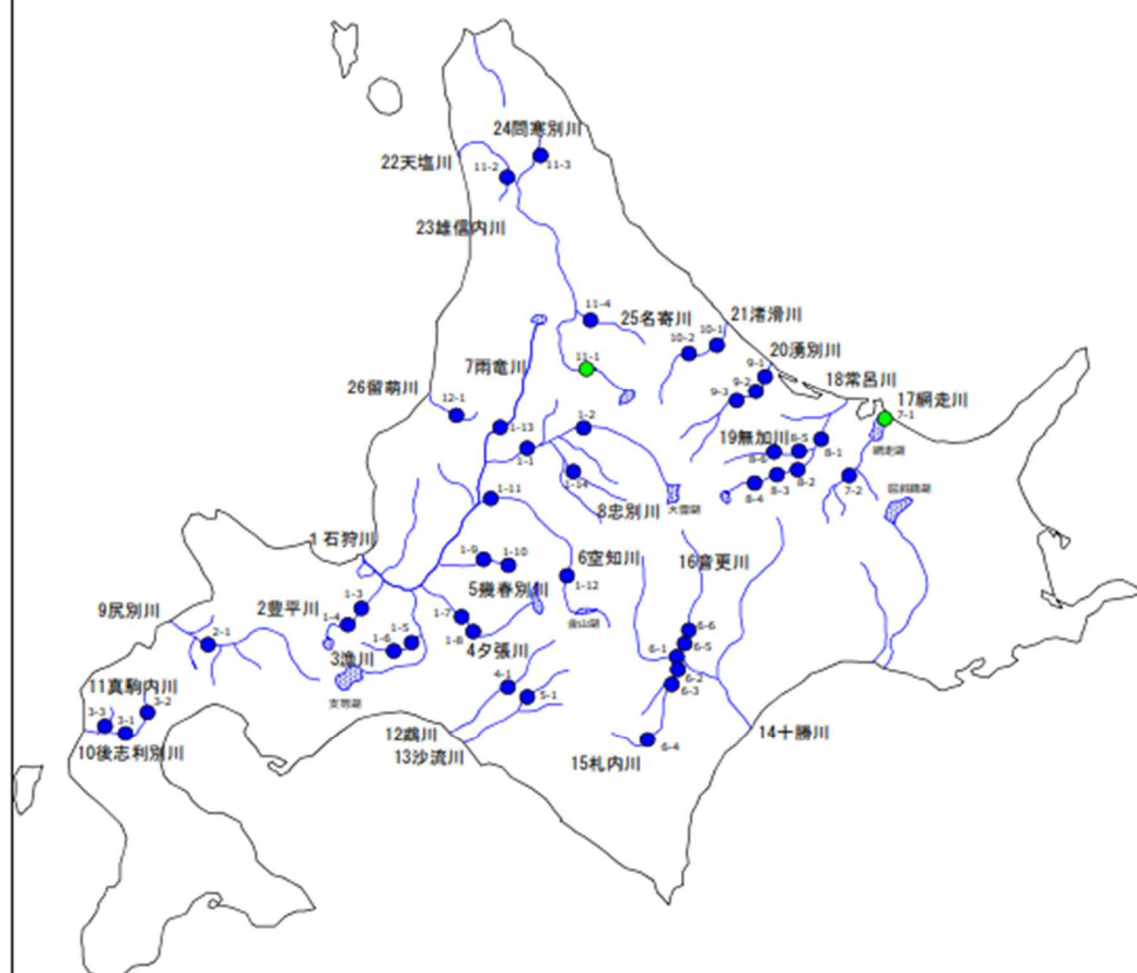
天塩川水系名寄川

## 2. 全国水生生物調査に参加を希望される場合のお問合せ先

令和5年度も市民の方々の参加を得て全国水生生物調査を実施します。調査への参加を希望される方は以下のお問合せ先までご連絡ください。

部局名	担当課	電話
北海道 開発局	建設部 河川管理課 〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目	011-709-2311
札幌 開発建設部	公物管理企画課 〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目	011-611-0328
函館 開発建設部	工務課 〒040-8501 函館市大川町1-27	0138-42-7604
小樽 開発建設部	工務課 〒047-8555 小樽市潮見台1丁目15-5	0134-23-5195
旭川 開発建設部	公物管理課 〒078-8513 旭川市宮前1条3丁目3-15	0166-32-1487
室蘭 開発建設部	治水課 〒051-8524 室蘭市入江町1-14	0143-25-7045
釧路 開発建設部	治水課 〒085-8551 釧路市幸町10丁目3	0154-24-7250
帯広 開発建設部	治水課 〒080-8585 帯広市西5条南8丁目	0155-24-4105
網走 開発建設部	治水課 〒093-8544 網走市新町2丁目6-1	0152-44-6471 0157-23-6118
留萌 開発建設部	治水課 〒077-8501 留萌市寿町1丁目68	0164-43-5515

令和4年 水生生物調査地点位置図<北海道>



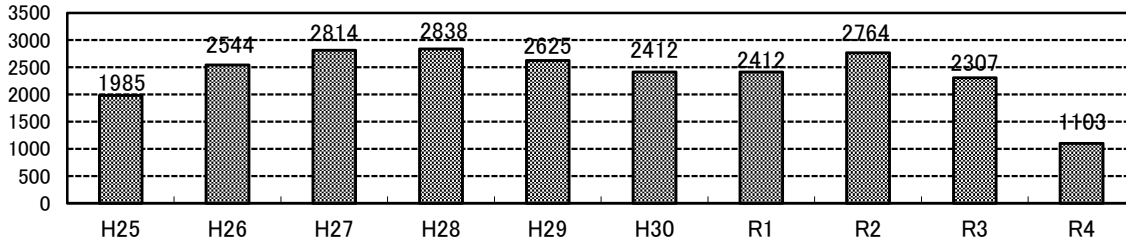
水質階級	記号
I. きれいな水	●
II. 少しきたない水	●
III. きたない水	●
IV. とてもきたない水	●
判定不能	●

# 令和4年度全国水生生物調査結果（北海道開発局関係分）

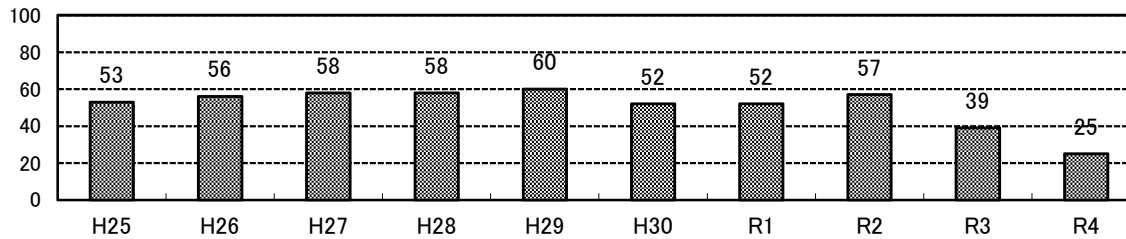
## 1. 参加人数及び団体数

令和4年度の参加人数は、延べ1,103人となりました。参加団体別参加人数は小学校での参加が最も多く、次いで高校の順でした。

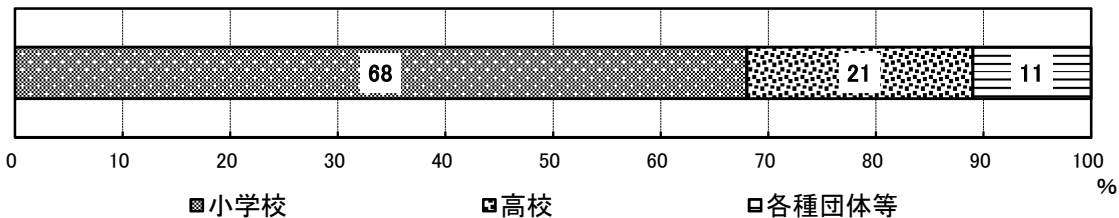
### ○ 参加人数の推移



### ○ 参加団体数の推移



### ○ 参加人数の団体別構成比

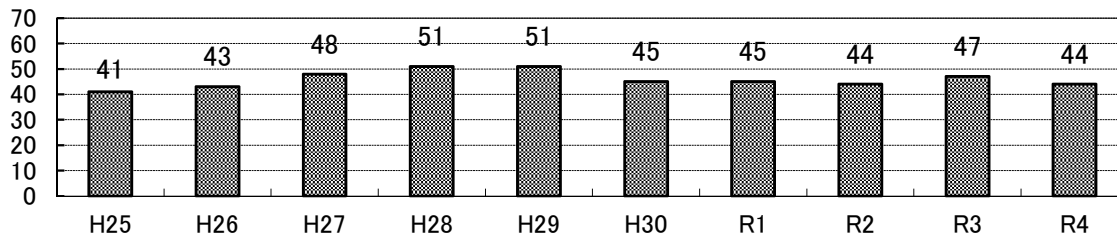


\*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

## 2. 調査地点数

令和4年度の調査地点数は44地点でした。

### ○ 調査地点数の推移

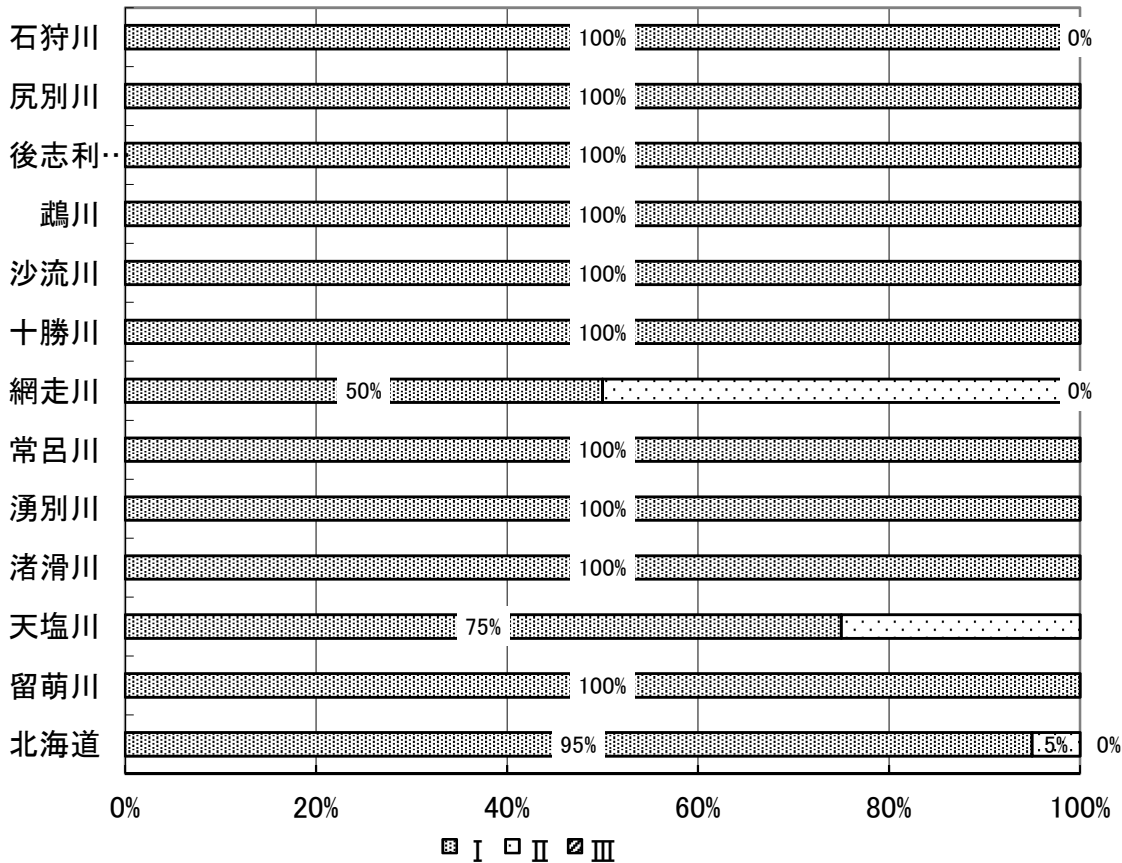


### 3. 河川別水質階級構成（地域別の水質の状況）

本調査は、河川の水質を概括的に知ることができると考えられます。

令和4年度は、水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が95%、Ⅱ（ややきれいな水）が5%、Ⅲ（きたない水）及びⅣ（とてもきたない水）に判定された地点は確認されませんでした。

#### ○河川別の水質階級構成

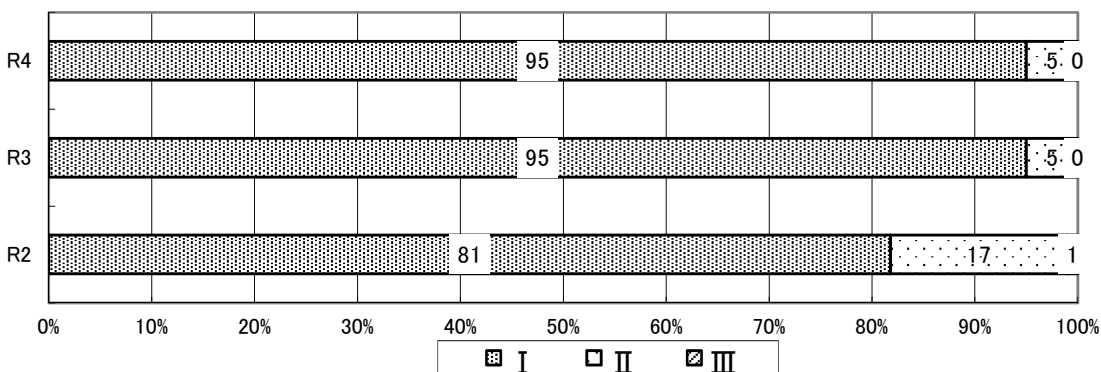


\*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

### 4. 水質階級構成比の年次推移

年度ごとの調査地点は相違しており、必ずしも同地点を比較したものではありませんが、過去5か年の推移を見ると、水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点は、令和2年度を除き9割以上を示しています。

#### ○水質階級構成比の年次推移



\*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

## 環境省同時発表

令和5年6月8日  
水管理・国土保全局  
河川環境課

## 全国水生生物調査に参加しよう！

国土交通省と環境省では、川の生きものを指標として河川の水質を総合的に評価するため、地域の皆様のご協力をいただいて『全国水生生物調査』を実施しています。

令和5年度も、夏休み期間を中心に調査を実施しますので、是非ご参加下さい。また、令和4年度の結果をとりまとめましたので、お知らせします。

開催日や場所等の詳細については各地方整備局等又は各都道府県の環境部局までお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

- ・各地方整備局等の窓口（一級河川直轄管理区間に関するもの）  
[http://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kankyo/kankyousuisitu/toiawase.html](http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/toiawase.html)
- ・各都道府県の環境部局（上記以外）  
[https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list\\_pref.html](https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list_pref.html)

## 【全国水生生物調査とは】

## (1)調査概要

サワガニ、カワゲラ類等の水生生物が生息しているかどうかで水質を判定  
子どもたちにもわかりやすく、特別な機材を用いないため、誰でも簡単に参加可能  
身近な自然環境に接することで、身近な環境問題への関心を高める良い機会  
昭和59年度から国土交通省・環境省が実施

## (2)調査方法

河川に生息する水生生物のうち、[1]全国各地に広く分布し、[2]分類が容易で、[3]水質に係る指標性が高い、29種の指標生物を調査

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ(きれいな水)、Ⅱ(ややきれいな水)、Ⅲ(きたない水)、Ⅳ(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定

川の生きものを調べよう - 水生生物による水質判定 - [調査テキスト]

[https://www.mlit.go.jp/river/shishin\\_guideline/suisituhantei/text.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/suisituhantei/text.pdf)

## (3)調査期間

7～8月を中心に実施





【令和4年度 調査結果概要】(詳細は別添をご覧ください。)

○参加者数・参加団体・調査地点数

令和4年度の参加者は34,745人(令和元年度53,269人)でした。

	参加者数	参加団体数	調査地点数
一級河川 1	11,091人	251団体	337地点
その他の河川 2	23,654人	749団体	1,004地点
合計	34,745人	1,000団体	1,341地点

1：一級河川大臣管理区間 2：一級河川都道府県管理区間及び二級河川等(1以外)

○水質判定結果

令和4年度は、全調査地点の88%の地点で、(きれいな水)又は(ややきれいな水)と判定され、令和元年度(87%)より1ポイント高くなりました。

	一級河川	その他の河川	全調査地点
I きれいな水	70%	64%	65%
II ややきれいな水	25%	22%	23%
III きたない水	3%	5%	5%
IV とてもきたない水	1%	4%	3%
判定不能	1%	5%	4%

四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

判定不能：指標生物が見つからなかった場合等

令和2,3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していません。

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課
課長補佐 阿河 一穂(内線 35441)
係長 寺石 杏映(内線 35482)
TEL 03-5253-8111(代表) 03-5253-8447(直通)
環境省 水・大気環境局 水環境課
課長 大井 通博
係長 森 美穂子
TEL 03-3581-3351(代表) 03-5521-8316(直通)



令和4年度全国水生生物調査結果

1. 参加人数及び参加団体数

令和4年度の参加人数は34,745人であった。  
 うち、一級河川※1は11,091人であり、その他の河川※2は23,654人であった。また、参加団体数は1,000団体で、うち一級河川は251団体であった。  
 参加団体別の参加人数は小学校での参加が最も多く、次いで各種団体、中学校の順番であった。  
 都道府県別の参加者数では岐阜県が最も多く、次いで岩手県、北海道の順番であった。

参加者数の多い都道府県

順位	都道府県名	参加人数	うち一級河川
1	岐阜	3,956	133
2	岩手	3,847	64
3	北海道	2,583	2,583
4	福島	2,457	416
5	愛知	1,671	11

※1一級河川大臣管理区間（以下「一級河川」という）  
 ※2一級河川都道府県管理区間及び二級河川等※1以外の河川（以下「その他の河川」という）

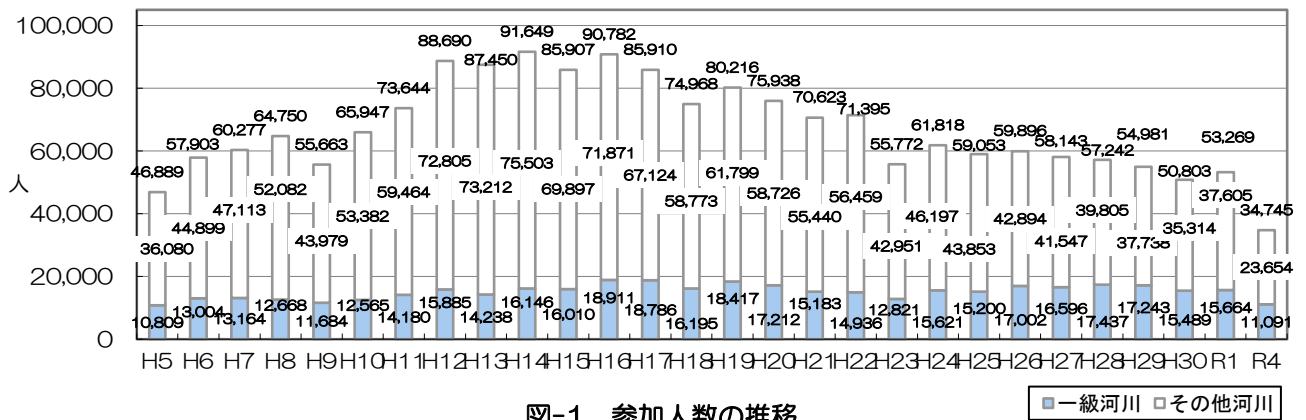


図-1 参加人数の推移

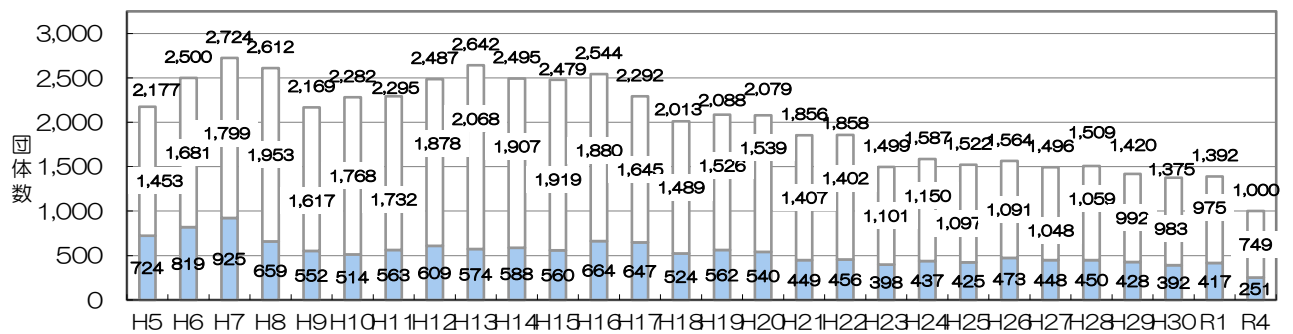
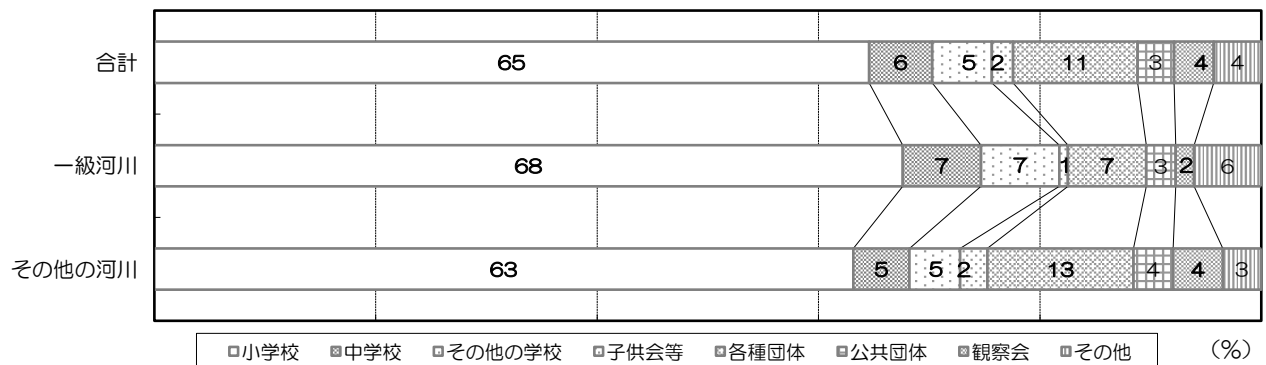


図-2 参加団体数の推移



※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

図-3 参加人数の団体種類別構成比

## 2. 調査地点数

調査地点数は1,341地点であった。

内訳は、一級河川は337地点、その他の河川は1,004地点であった。

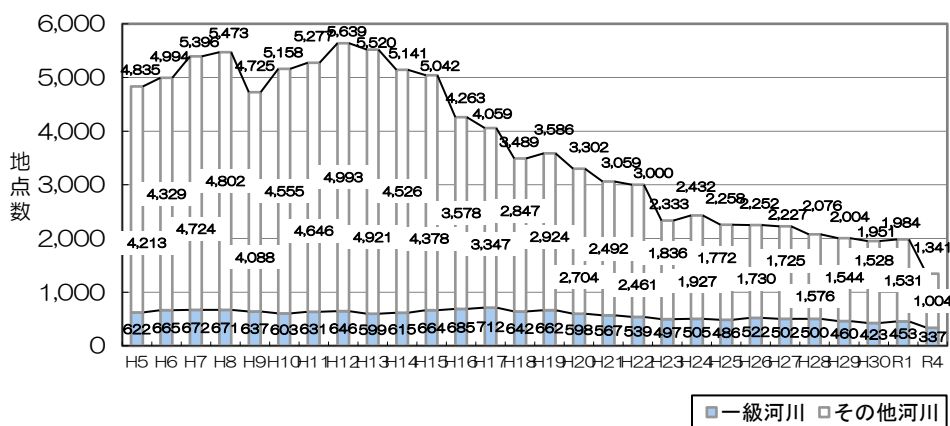
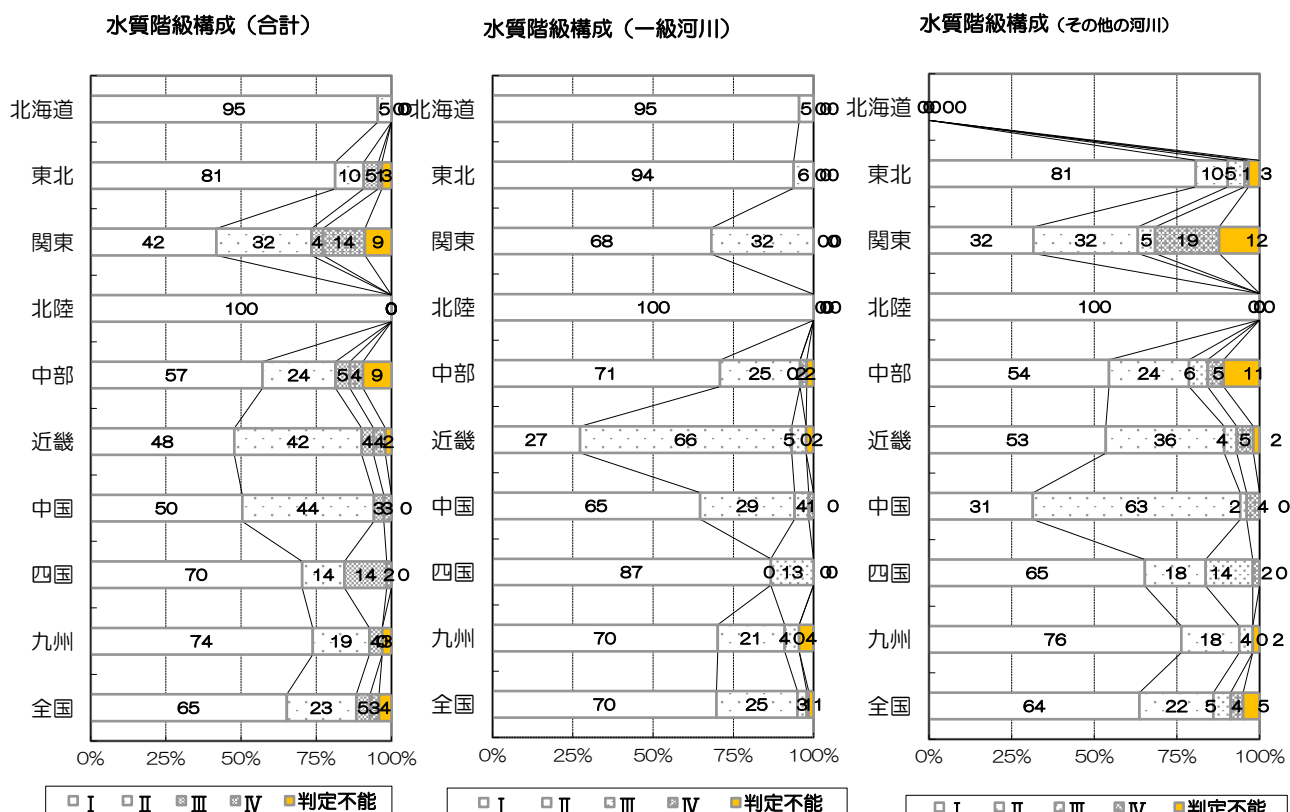


図-4 調査地点数の推移

## 3. 地域別水質階級構成（地域別の水質の状況）

本調査は、調査地点を参加者が任意に選定するため、我が国の河川の状況を正確に代表したものではない。しかし、多数の地点で調査されているため、全国の水質の状況を概括的に知ることができると考えられる。

令和4年度は、全国で水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が65%、Ⅱ（ややきれいな水）が23%、Ⅲ（きたない水）が5%、Ⅳ（とてもきたない水）が3%であった。



※判定不能の数値ラベルは図中に表示していない。  
四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

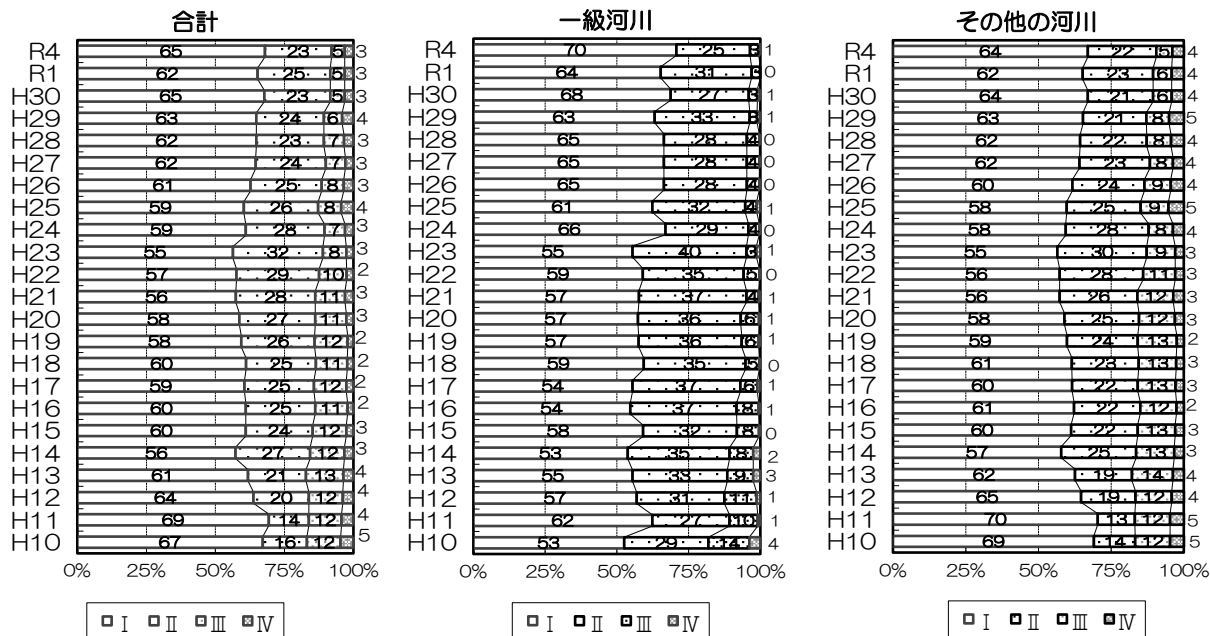
図-5 地域別水質階級構成比

#### 4. 水質階級構成比の年次推移

全国の全調査地点の水質階級構成比を図6に示した。

I（きれいな水）又はII（ややきれいな水）と判定された地点の合計の割合は平成10年度以降、増加傾向となっている。本年度、I（きれいな水）又はII（ややきれいな水）と判定された地点の合計の割合は令和元年度より1ポイント高い88%であった。

なお、年次ごとの調査地点については相違しており、必ずしも同地点を比較したものではない。

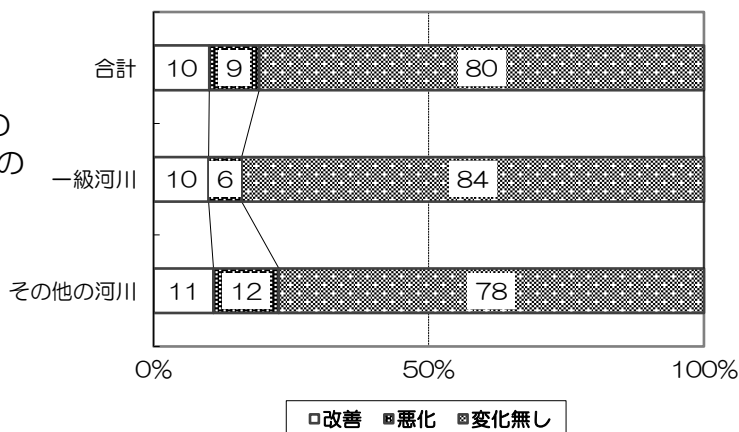


※1 判定不能地点の扱い及び四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。  
 ※2 平成12年度から調査手法を変更しているため、平成12年度と平成11年度以前の厳密な比較はできない。  
 ※3 令和2、3年度は 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していない。

図-6 水質階級構成比の年次推移

#### 5. 令和元年度との比較

令和元年度と同じ地点で調査された560地点について比較すると、10%の地点が改善、9%の地点が悪化、80%の地点が同じ水質階級であった。



※1 四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。  
 ※2 令和2、3年度は 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していない。

図-7 同一調査地点での令和元年度との比較

# 全国水生生物調査の概要

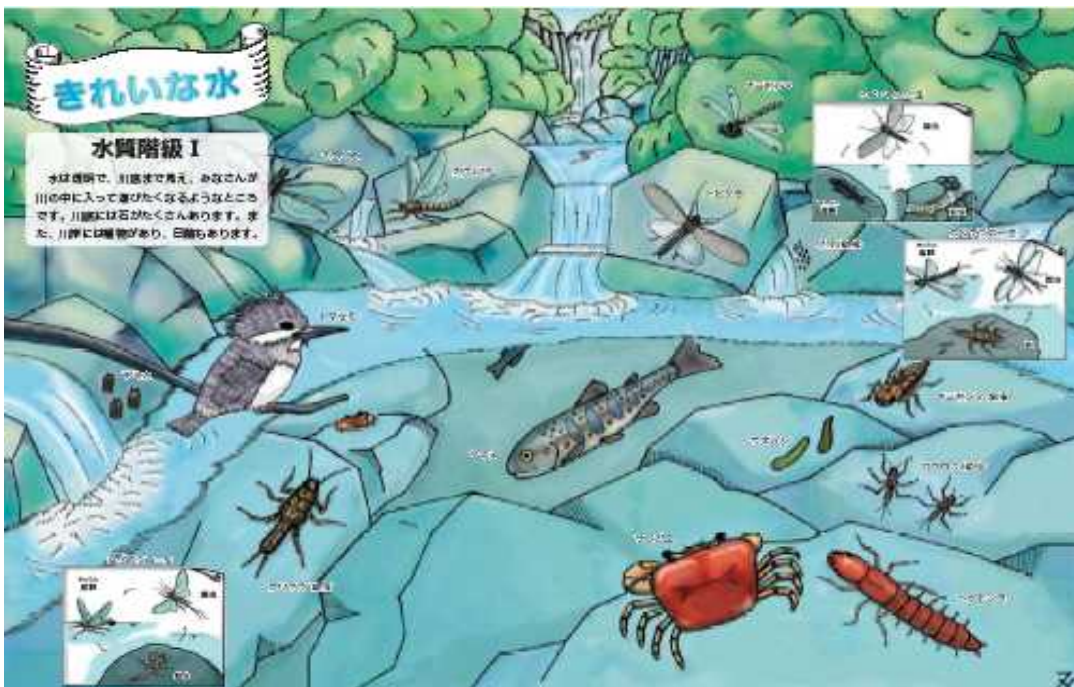
【参考1】

川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

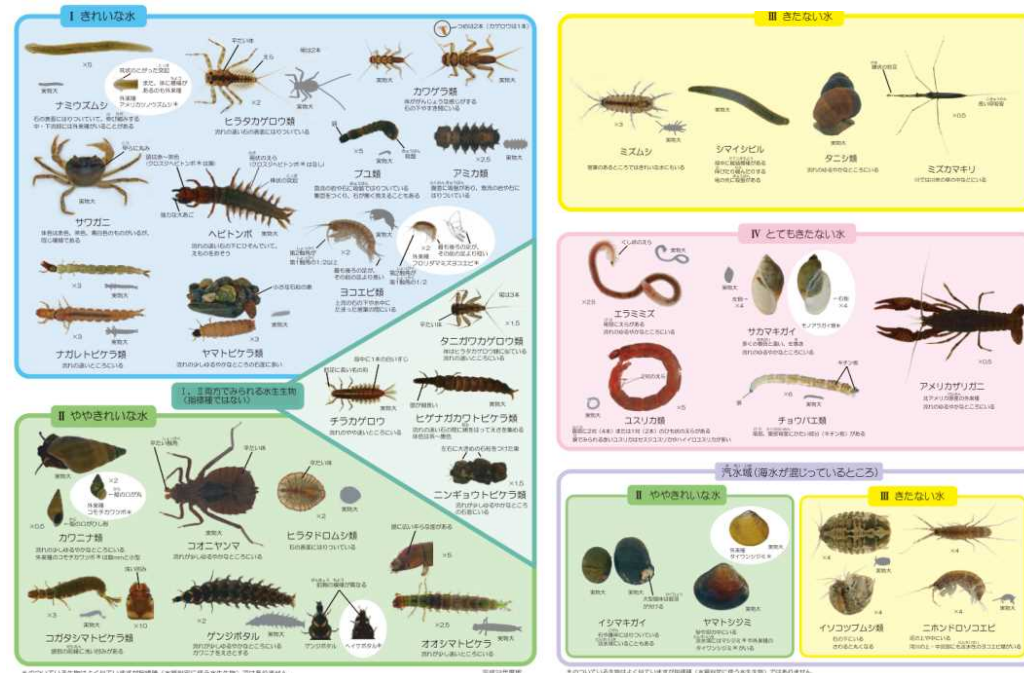
## 調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、全国各地に広く分布し、分類が容易で、水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、(きれいな水)、(ややきれいな水)、(きたない水)、(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



## 水質階級と指標生物



きれいな水 ( ) の指標生物		ややきれいな水 ( ) の指標生物	
ナミズムシ	サワガニ	カワナナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	フユ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
きたない水 ( ) の指標生物		とてもきたない水 ( ) の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
ニホンドロソコエビ	イソコツブムシ類	チョウバエ類	
両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンジョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) は海水の少し混ざっている汽水域の生物



# 令和4年度 全国水生生物調査(一級河川)の状況

【参考2】

令和4年度一級河川の全国水生生物調査では、夏休み期間を中心に、小中学校や市民団体等251団体、11,091人の多数の参加を頂き、337箇所での調査地点数となりました。参加者数の多い都道府県は、北海道、島根県、兵庫県等でした。



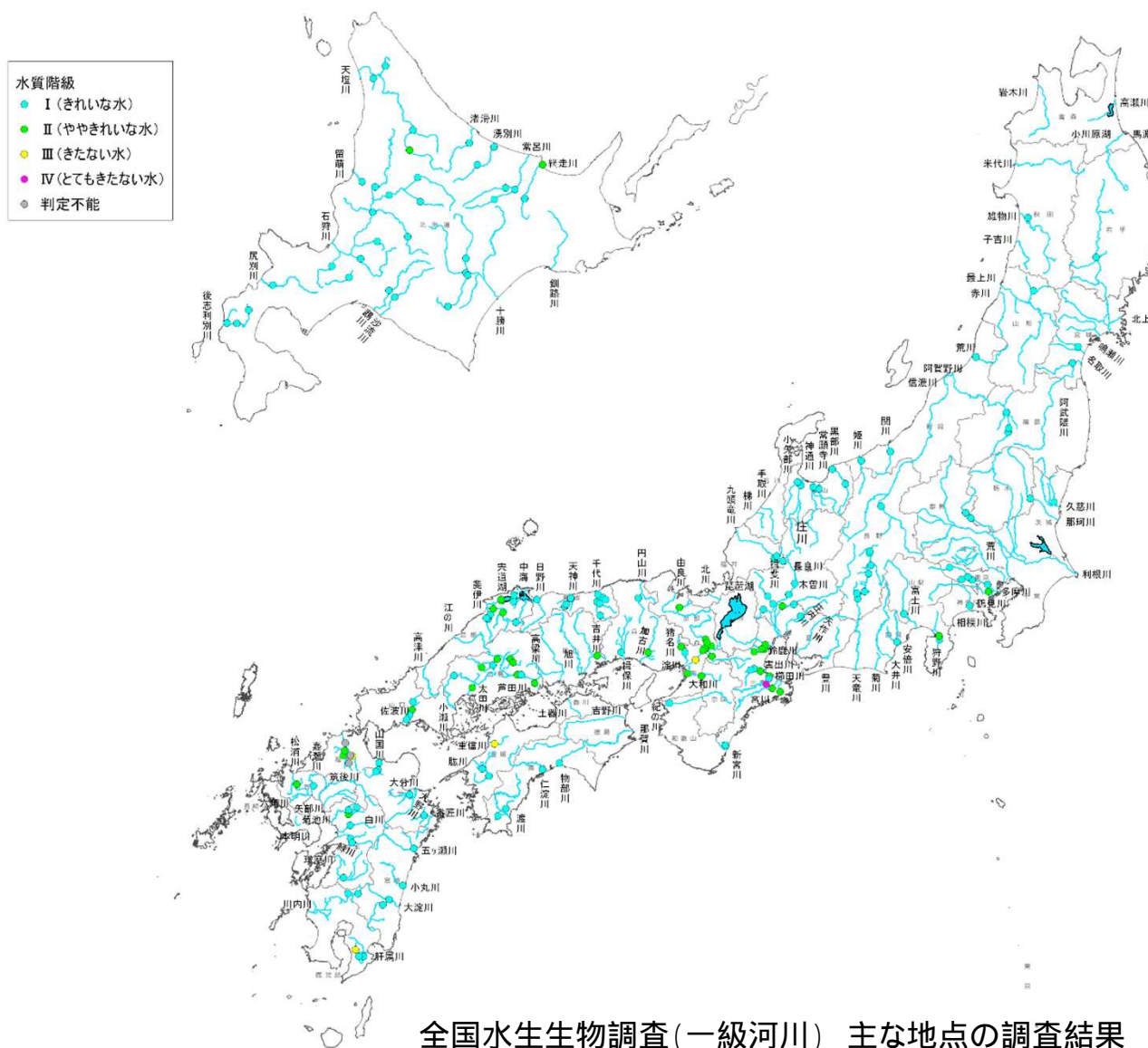
千代川水系袋川(R4.6.29)



富士川水系中村川(R4.7.15)



天塩川水系雄信内川(R4.7.12)



全国水生生物調査(一級河川) 主な地点の調査結果